

動画画像処理実利用化ワークショップ講演原稿 執筆要綱文字 14P,改行 21P

精密工学会画像応用技術専門委員会
動画画像処理実利用化ワ - クショップ編集係文字 12P、改行 18P

<要約> この小冊子は上記、動画画像処理実利用化研究報告会への講演原稿の掲載方法を説明したもので、この小冊子自体が原稿のサンプルとなっています。今、お読みになっているのは、要約欄の部分です。先頭の<要約>の文字は必要ありません。タブ1~2個で字下げします。文字 10P,改行 15P です。

1. 講演原稿の作成の手引き

1.1 基本的な事項

講演論文集は、原稿を原寸のまま印刷するカメラレディ方式で製作しております。解像度 600DPI 程度のプリンタで出力しますときれいに仕上がります。

1.2 原稿締切日の厳守

必ず定められた期日までに原稿をお送りください。全ての原稿がそろいませんと印刷所へ入稿することができません。ご協力をお願いいたします。

1.3 用紙の設定

- (1) 用紙 A4
- (2) 余白 上 30mm、下 30mm、左 20mm、右 20mm

1.4 原稿枚数

原稿枚数は、4 ページから 6 ページです。

2. 原稿の構成と体裁について

2.1 原稿の構成

原稿は、表題欄、著者欄、要約欄、本文欄、参考文献欄などから構成されています。

2.2 表題欄の体裁

表題欄は上から 30mm、1 段組でセンタリングとします。文字は 14 ポ、改行は 21 ポ、書体はゴシック体か明朝体の太文字(太明)を使用してください。副題は、“ - ” (ハイフン)ではさむなど、適宜処理してください。

2.3 著者欄の体裁

著者欄は上から 50mm、1 段組でセンタリング。最初に著者名(+ 連名者)、次の行に所属をお書きください。文字は 12 ポ、改行は 18 ポ。表題欄との間隔は 10mm 程度にしてください。

2.4 要約欄の体裁

要約欄は上から 70mm、1 段組で均等配置とします。

文字は 10 ポ、改行は 15 ポです。先頭は TAB 1 ~ 2 個程度下げてください。著者欄との間隔が 10mm 程度となるように調整してください。

2.5 本文欄の体裁

本文欄は上から 95mm、2 段組で均等配置とします。章タイトルは字下げせず、太字下線引きとします。節は 1 字下げ太字とします。段落開始時には 1 字下げてください。文字の大きさは 10 ポ、改行幅は 15 ポです。文字数は全角 23 文字/行/カラムです。アブストラクト欄との間隔が 10mm 程度となるよう調整してください。2 頁以降は 48 行/カラムです。

2.6 図・表・写真について

鮮明なものをご用意ください。また、図・表内の文字は小さくなりすぎないように注意してください。漢字の場合は 8 ポイントが限界です。

2.7 カラー写真の取り扱い

原稿は原則として白黒印刷となります。カラー印刷については、実費ご負担の上で可能な場合もありますので、事務局へご相談ください。

2.8 頁番号

提出する原稿の右下に鉛筆で(頁番号/総頁数)を記入してください。

3. 原稿締め切り

平成 16 年 1 月 30 日(金) 必着

4. 問合せ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
電気通信大学 知能機械工学科 ｶｰﾄﾞﾈｯﾄ研究室内
精密工学会 画像応用技術専門委員会事務局
動画画像処理実利用化ワークショップ係
電話 0424-43-5421
FAX 0424-43-5796 (下条教授室)